

数学と産業の協働、データサイエンティストの育成 ～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取組み～

日時：2014年6月12日（木）13時00分～17時00分
会場：統計数理研究所 2階 B201（最寄り駅：多摩モノレール高松駅から徒歩約10分、JR立川駅から徒歩約25分）
主催：横幹技術協議会、統計数理研究所、横幹連合
参加費：無料ですが、事前登録をお願いします。

参加申込：【事前登録】オンライン申込 (http://www.trasti.jp/forum/forum42_kyg.html)

【企画趣旨】

本フォーラムでは、まず、背景情報として、イノベーションの創出と促進に関連する二つの文部科学省委託事業(*)の成果を俯瞰する。次に、イノベーション促進の担い手として期待されるデータサイエンティストに焦点を当て、ビジネスの第一線でデータサイエンティストとして活躍されている諸氏から、ビジネスの現場からみたデータサイエンティストのあるべき姿についてご提示いただく。その上で、我が国におけるデータサイエンティストの持続的な育成と効果的な活用を達成していく方策について議論を進める。

(*)数学・数理科学と諸科学・産業との協働によるイノベーション創出のための研究促進プログラム「数学協働プログラム」。
ビッグデータを利活用したイノベーションの促進に貢献する「データサイエンティスト育成ネットワークの形成」事業。

【プログラム】

	(敬称略) 総司会:丸山 宏(統計数理研究所)
13:00-13:10 開会あいさつ	樋口 知之(統計数理研究所 所長) 大場 允晶(横幹技術協議会 副会長)
13:10-14:30 ◆ 文部科学省委託事業 成果報告、講演1 -「数学協働プログラム」成果報告 -「アリにおける意思決定と失敗戦略」講演 -「データサイエンティスト育成ネットワークの形成」成果報告	伊藤 聡(統計数理研究所) 西森 拓(広島大学大学院理学研究科) 丸山 宏(統計数理研究所)
14:30-15:00 休憩(統計数理研究所オープンハウスポスター閲覧可能)	
15:00-16:55 ◆ 講演2 「普通の企業におけるデータ分析人材のやりがいと苦悩」 ◆ 講演3 「ビッグデータによるサービスの改善」 ◆ 鼎談 「データサイエンティストの未来」	河本 薫(大阪ガス株式会社) 平手 勇宇(楽天株式会社) 河本 薫 平手 勇宇 丸山 宏
16:55-17:00 閉会あいさつ	出口 光一郎(横幹連合 会長)

数学と産業の協働、データサイエンティストの育成

～イノベーションの創出と促進に向けた先進的取組み～

2014年6月12日（木）13時00分～17時00分

【講演要旨】

(敬称略)

成果報告・講演1

文部科学省委託事業 成果報告・講演1

◆伊藤 聡（統計数理研究所）「数学協働プログラム」成果報告

数学協働プログラムでは、数学・数理科学的な知見の活用による解決が期待できる課題の発掘から、諸科学・産業との協働による問題解決を目指した研究の実施を促進するため、8つの協力機関と緊密に連携しながら、重点テーマのもとでのワークショップやスタディグループの実施、諸科学・産業向けチュートリアルや一般向けシンポジウムの開催など、様々な活動を行っている。この講演では、平成24年11月の事業開始以来の活動について簡単に報告する。

◆西森 拓（広島大学大学院理学研究科）「アリにおける意思決定と失敗戦略」講演1

アリは、個体間の協調行動を通して、個々の能力をはるかに上回る複雑なタスクを達成し、繁栄を謳歌している。中でも、フェロモンを媒介とした集団採餌は、アリの協調行動の代表例ともいえる。我々は、実験とデータ解析、数理モデリングを通して、その機構を探索してきた。今回の講演では、個々のアリのフェロモン追従性の「いいかげんさ」こそが、集団採餌の安定性につながるという逆説的な研究結果を紹介し、その後、結果の解釈および議論の一般化を試みる。

◆丸山 宏（統計数理研究所）「データサイエンティスト育成ネットワークの形成」成果報告

ビッグデータの重要性が認識される中、文部科学省は我が国における高度データ分析人材の育成を目指した事業を開始した。この一環として、統計数理研究所と東京大学大学院情報理工学系研究科は平成25年度から「データサイエンティスト育成ネットワークの形成」を実施している。この講演では、本事業の初年度の成果について報告する。

講演2

普通の企業におけるデータ分析人材のやりがいと苦悩

◆河本 薫（大阪ガス株式会社）

「ビッグデータ」や「データサイエンティスト」といった流行語のお陰か、企業のデータ分析に対する関心は高まるばかりである。一方で、多くの企業から、「データベースも整備した。統計解析に強い人材もいる。なのにビジネスに活用できない。」といった嘆きを耳にする。なぜか？大阪ガスも最初はうまくいかなかった。10年かけて、やっとデータ分析をビジネスに繋げられるようになった。そのプロセスで経験した失敗や苦労を体系化して話すことで、皆さんのお役に立てればと思います。

講演3

ビッグデータによるサービスの改善

◆平手 勇宇（楽天株式会社）

約4万店舗、1億5,000万点を超える商品で構成される楽天市場では、様々なビッグデータが日々生成され続けており、ビッグデータを活用した様々なサービス改善の試みが行われている。本公演では、サービス改善の試みの例として、商品検索サポートシステム、商品データの整備、商品レビューを利用したナビゲーションを例として取り上げ、楽天におけるビッグデータを活用の状況について紹介を行う。

鼎談

データサイエンティストの未来

◆河本 薫（大阪ガス株式会社）◆平手 勇宇（楽天株式会社）◆丸山 宏（統計数理研究所）

ビッグデータやデータサイエンティストは一過性のハイブだろうか。それとも社会の根幹を支える要素として欠かせないものになっていくのだろうか。もしそうだとすれば、データサイエンティストは一生を捧げるキャリアパスとして定着していくのだろうか。この鼎談では、実際にデータ分析を企業の現場で行なっているお二人をお招きして、データサイエンティストの将来について議論する。

＜第 42 回横幹技術フォーラム 文部科学省委託事業報告会 合同開催 参加申込書＞

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

交通案内



多摩モノレール 高松駅下車 徒歩約 10 分

立川バス 立川駅北口 2 番乗り場から

「大山団地方面行き」で「立川学術プラザ」下車 (正門前に停車)

立川駅北口 1 番乗り場から

立川市役所バス停下車 徒歩約 5 分

JR 立川駅より徒歩 約 25 分

(統計数理研究所ホームページ http://www.ism.ac.jp/access/index_j.html より)

以上